

村岡地区市民意見交換会 議事要旨

○と き：令和4年12月16日（金）午後7時～9時

○ところ：村岡まちづくり会館

○テーマ：①市役所組織変更について

②地域防災について

③こども政策について

④まちづくり会館について

○出席者：63名

Q1	<p>・小規模多機能自治というが、まちづくり会館やにこにこ地域づくり交付金事業の話は急に出てきたように思う。この経緯について教えていただきたい。</p>
A1	<p>・公民館では社会教育を主に担っていたが、戦後、学校教育を十分に受けられなかった大人が学び直しをするという意味での社会教育は、終期に来ていると思う。この時期がきて、地域の拠点である公民館を小規模多機能自治としての役割に切り替え、今年の4月から社会教育以外のことができるように、管轄を教育委員会から市長部局へ移した。</p>
Q2	<p>・今回の意見交換会のテーマのような事項について、事前に市民に対する周知がされていないのではないか。</p>
A2	<p>・これまではコロナ禍においてできていなかった。今回の意見交換会をはじめ、色々な機会を通じて繰り返し実施したい。顔を合わせて話し合うのが重要だと思う。他にもホームページやLINE、広報紙を活用して周知していきたい。</p>
Q3	<p>・周知に使用する資料について、説明を聞いていない人でも分かるように配慮した資料を作成するべきだと思う。</p>
A3	<p>・承知した。</p>
Q4	<p>・8月の大雨の際には一時避難所を開設していたが、暮見川や滝波川が氾濫しそうで、怖くて避難所に行くことができなかった。また、むろこザウルスがまちづくり会館へ避難していたと聞いたが、なぜ小学校へ避難しなかったのか。</p> <p>・友楽喜がなくなると聞いたが、友楽喜は調理室があり、緊急時には避難所として有効な施設だと思うが、どのようにお考えか。</p> <p>・こども会館に移行する中で、貸館がなくなると、生涯学習で活動する場所がなくなるので困る。</p> <p>・公立保育園・幼稚園が廃園の方針となり、残念である。今いる優秀な人材の能力を活かせるような配置にしてほしい。</p>

	<p>・子育て支援センターがすこやかに移転し、場所も狭くなり使いにくくなった。子育て日本一の勝山市を目指す中で、未就園児を育てるお母さんを見捨ててはいけないと思う。特に県外から移住したお母さんは子育てに悩んでいる。こども会館ができるまでも十分に支援してほしい。</p>
A4	<p>・災害の際には避難ルートを確認できない場合もあるのでまずは垂直避難をしてほしい。ザウルスがまちづくり会館へ避難した経緯を確認する。</p> <p>・友楽喜や貸館の件については、市全体の施設の使い方の中で検討したい。</p> <p>・保育園・幼稚園のスタッフについては、能力を十分に活かしていきたい。ただ、一人残らず事務に転じない、ということはないのでご了承いただきたい。</p> <p>・子育て支援センターについては、これまで以上に支援強化する。場所についても検討していく。それまでの対応についても、今回いただいた意見を踏まえて検討していきたい。</p>
Q5	<p>・こども政策について、こども課と教育総務課が教育委員会として一体となり、連携できるのは良いと思う。近年、未就学児において気がかりな子の対応が増えており、小学校へスムーズに入学できるような連携もお願いしたい。現在公立幼稚園・保育園で働く職員も活用して、子育て日本一の環境を目指してほしい。</p>
A5	<p>・こども課の中に、就学前教育を強化し小学校と連携するセクションを設置する。その際には幼稚園・保育園の先生方のスキルを活かしていきたい。またそのスキルを活かして、民間保育園への支援や、保護者からの相談機能についても強化したいと考えている。</p>
Q6	<p>・8月の大雨では黒原用水が被災し、農林課の方に対応していただき感謝している。区民に説明する際に、国との協議や市の方針など、できるだけ情報提供してほしい。担当の方も対応に忙しいと思うので、今後大きな災害が起こった際、タイムリーな情報を地区へ提供する仕組みを整えてほしい。</p>
A6	<p>・災害査定については終了し復旧工事を発注しているが、降雪時になったので、ほとんど来年度に繰越すことになるだろう。また林道の復旧は先送りになっている。広報などを通じてなるべく細かく伝えたい。また、農業施設の復旧については、市議会と協議し被災者の負担軽減対策を考えている。そういった情報を区長や農家組合長に伝える場を設けたい。</p>
Q7	<p>・緊急メールはどのくらいの市民が登録しているのか。豪雨の際は防災無線の音が聞こえづらく、ラジオかテレビで情報を得ているが、それは国や県全域のことになるので、地区に集中した情報を提供していただくと安心する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校再編について、夏に教育長から説明があり、改めて丁寧な説明をすると回答があったがまだ実施されていない。市民に伝えることはしっかりとしてほしい。 ・これまでも要請したことがあるが、議会の日程を広報に載せてほしい
A7	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急メールの登録は約 3,000 件。防災無線に代わる情報伝達の方法を早急に検討したい。情報提供の内容についても検討する。 ・中学校の詳しい説明については、基本計画の策定が終わったので、年明けに説明できるようにする。 ・議会の日程の広報掲載については、3月議会からすぐに対応する。
Q8	<ul style="list-style-type: none"> ・登山客への対応について、取立山や赤兎山は一人 500 円の入山料がかかる。鯖江や大野は駐車場が整備されており、かつ無料である。なぜ勝山はお金を取るのか、お金を取るなら整備して登りやすいようにしてほしい。また、500 円は高すぎる。市が負担するなど支援してほしい。
A8	<ul style="list-style-type: none"> ・入山料については、生産森林組合で徴収し、山の整備に活用していると聞いている。このことについては実態を調べてお伝えしたい。市が負担することについては、色々な所との協議が必要になるので、すぐに返答できない。お時間をいただきたい。
Q9	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の意見交換会はまちづくり会館だよりで広報されていたが、各種団体の動員以外で参加している人はどれくらいいるか。 ・長尾山の脇の水路にごみが詰まるので、定期的にパトロールしていただいて有難い。
A9	<ul style="list-style-type: none"> ・広報では情報発信しているが、見ている人は少ない。公民館だよりも同様だと思う。PR の仕方や魅力ある紙面の在り方も検討したい。見ていただけるような広報紙を目指したい。また市民意見交換会も何回か開催したい。 ・ごみの件については市全体で取り組みたい。
Q10	<ul style="list-style-type: none"> ・大雪の際、中部縦貫自動車道が通行止めになる。事業者としては簡単に通行止めになると非常に不便である。国や県に働きかけていただけないか。 ・運送業をしていると夜間運転することも多く、除雪されていない時間帯に走ることがある。降雪状況に応じて柔軟な除雪ができないか。 ・子ども会で滝波公園を利用したが、施設が古く、特にトイレは使用したくないという子がいた。施設の更新ができないか。 ・川が氾濫しないような根本的な対策をしていただきたい。
A10	<ul style="list-style-type: none"> ・中部縦貫自動車道については、福井国道河川事務所が除雪を行っているが、スタックによる通行止めになる前に、事前に通行止めにして除雪を徹

	<p>底している。ドカ雪が降った時など、雪の状況により絶対に通行止めにならないということとは言えない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な除雪だが、交通量が多い時間帯は除雪作業ができないことから、深夜から明け方にかけて除雪することが多い。ご意見があったことはお伝えしたい。 ・滝波公園のトイレについては検討したい。 ・河川については堤防を嵩上げする必要があるなど課題もあるが、現在は災害復旧を優先している。ご意見については奥越土木事務所に伝える。
Q11	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオアリーナで開催される大きな大会や行事について、電光掲示板等で道行く人に見えるようにすると、立ち寄る人も多くなるのでは。
A11	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオアリーナの催事については事前の周知を徹底したい。電光掲示板の設置については、ご意見をいただいたことを持ち帰りたい。
Q12	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策が勝山における大きな課題だと思う。危険な空き家も多いと思うが、今後の対応策を教えてください。
A12	<ul style="list-style-type: none"> ・特定空き家は市内で12件あり、一つずつ対応している。地域内でも地主や持ち主に粘り強く話をしていくので、特定空き家が増えないように考えていきたい。
Q13	<ul style="list-style-type: none"> ・にこにこ交付金については良い話ではあるが、使い道について、市の狙いはあるのか、それとも全く自分たちで自由に考えればよいのか。 ・なぜ10年という枠を組んだのか。11年目はどうなるのか。
A13	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり会館の運営やにこにこ地域づくり交付金について、地区での戸惑いが見受けられる。市の狙いとしては、小さいエリアの中で、自分たちで自己決定していけるような地域にしてほしいということ。にこにこ地域づくり交付金については、10年間で計画を立てて、自分たちで自由に活用してほしい。地域担当職員や総務課の職員が相談にのるなどの支援や勉強会を検討したい。 ・10年という枠については、第6次総合計画の期間に合わせて設定した。事業の継続等については、第7次を議論する際に、検討していきたい。
Q14	<ul style="list-style-type: none"> ・こども会館や中央公園をリニューアルするにあたり、駐車場の増設について検討してほしい。
A14	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の増設については、他の地区での意見交換会でも話があった。しっかりと持ち帰り検討したい。
Q15	<ul style="list-style-type: none"> ・DXを進めるのもいいが、防災情報の伝達については、高齢者に向けた情報発信も考慮してほしい。広報紙には綿密な情報を出してほしい。デジタルの時代ではあるが、アナログも重要である。 ・村岡地区を担当している職員と地区社協の職員が、DXを活用して考え

	<p>などを共有できないか。若い世代、働く世代、学生を巻き込んだ意見交換会を持ってないか。</p>
A15	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者への情報伝達や若い人の参画については、30年前から課題になっている。スマホ世代の年齢が上がったり、高齢者でも使いやすいように端末機器が開発されるなど進化しているが、広報紙で情報を得ている人もいるので、広報についても強化していきたい。 ・横のつながりについては、地域に期待するところでもある。村岡の中で、幅広い人を集めた意見交換会もしたい。人を集めることを地域にお手伝いしていただきたい。
Q16	<ul style="list-style-type: none"> ・長尾山の再整備について教えてほしい。
A16	<ul style="list-style-type: none"> ・1期エリアの再整備が進んでいる。Park-PFI をしていく中、星野リゾートを含めた施設を恐竜博物館の傍ではなく、森の博物館を中心に、2期エリアにつながるよう整備していく。整備により長尾山の魅力がもっと高まるようになる。
Q17	<ul style="list-style-type: none"> ・恐竜学部には期待したい。開学すると、関係人口が増える。出生数を増やすことも大事だが、関係人口を増やすことが地域の経済を潤すことになると思う。 ・観光産業事業者としては、勝山市に入って来た時のワクワク感が足りないという声を聞く。北郷や勝山 IC から勝山市に入ってきたときにも恐竜感がないので、そういったことが乏しいのかとも思う。 ・村岡は恐竜博物館のお膝元なので、まちづくり会館の名称も恐竜にまつわるものにしたい。 ・せっかく世界三大恐竜博物館があるので、全国の子どもを招いたサミットを開くのはどうか。恐竜を通じて、勝山に興味を持つ子が増え、関係人口が増え、勝山に戻ってくる子も増えるのでは。
A17	<ul style="list-style-type: none"> ・恐竜学部は令和8年からオープンする。今まで奥越にはいなかった大学生が勝山に暮らすようになると、新しいシーンが開ける。暮らすところ、アルバイト先など県立大学とも協議しており、地元の皆様にもご支援いただきたい。 ・ワクワク感が足りない、ということで、勝山 IC にクラウドファンディングを活用して恐竜モニュメントを建設中である。 ・市か県かどちらになるか分からないが、子どもたちへの事業はしっかり考えていきたい。

以上